

科目名 (科目番号)	保健学概論 (084131)	教員名	和田 由香 可知 謙治	学科等	保健栄養	必修	履修年次	1
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				オフィスアワー		D302研究室		
授業概要	個人における健康とはどのような状態なのか。個人の健康は、地域社会にどのように寄与するのか。健康を維持・増進するためにどのような地域保健活動が必要であり、実施されているのか。私たちの生活の中で身近に行われている様々な衛生活動を振り返り、その目的と意義を理解する。それらが地域住民に密着したプライマリ・ケア活動に含まれることを学び、公衆衛生学・社会福祉学・臨床医学など、関連する専門教育科目への導入とする。そのために、新聞記事を題材にするなど、私たちの身近に存在するさまざまなレベルの保健活動の実際を取り上げ、その背景と現状・課題を知り、解決に向けた保健活動のあり方を検討する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	オリエンテーション 健康の意義	到達目標:世界保健機関憲章の全文や健康日本21がわかる。 学習内容:健康の概念を知り、健康について考える。(可知)					
	2	救急蘇生法	到達目標:一次救命処置(BLS)の手技やAEDの使い方がわかる。 学習内容:一次救命処置(BLS)の手順と実際の手技について学ぶ。(可知)					
	3	成長と発達	到達目標:発生・発育の段階、小児の発育と発達がわかる。 学習内容:身体の成長と発達を学ぶ。(可知)					
	4	生活習慣と健康	到達目標:生活習慣病の種類や治療、予防がわかる。 学習内容:生活習慣に起因する疾病の病因と病態について学ぶ。(可知)					
	5	加齢による変化	到達目標:加齢に伴う機能の変化、廃用症候群・老年症候群の病因と病態がわかる。 学習内容:加齢による心身の変化について学ぶ。(可知)					
	6	薬の基礎知識	到達目標:薬剤の各投与方法の特徴がわかる。 学習内容:医薬品の投与経路の種類と特徴を修得する。(可知)					
	7	補完代替医療	到達目標:健康食品やサプリメントの有効性についてわかる。 学習内容:補完代替医療やサプリメントの現状と課題を学ぶ。(可知)					
	8	環境と健康	到達目標:水質検査、放射線の種類や線量についてわかる。 学習内容:環境が生命に与える影響について、現状と課題について考える。(可知)					
	9	生命倫理	到達目標:生命倫理の原則と理論についてわかる。 学習内容:今、なぜ生命倫理なのかを考える。(可知)					
	10	医療用語	到達目標:基本的な医療用語や略字がわかる。 学習内容:医療用語の基礎知識と理解を促進するための言い換えについて学ぶ。(可知)					
	11	様々な健康情報①	到達目標:健康情報の中から、どのように必要な情報を選択し、専門家のアドバイスのもとで、どのように健康行動に反映させるかについて理解する。 学習内容:様々な健康情報について学習する。(和田)					
	12	様々な健康情報②	到達目標:健康情報についてメディア利用と健康意識などについて理解する。 学習内容:メディアで扱われている様々な健康情報について学習する。(和田)					
	13	健康管理のキーワード①	到達目標:がんや生活習慣病などの疾患と保健行政や保健医療の仕組みについて理解する。 学習内容:様々な疾患と保健行政との関連について学習する。(和田)					
	14	健康管理のキーワード②	到達目標:健康管理の課題について話し合い課題を見つける。 学習内容:健康管理論について学習する。(和田)					
	15	健康管理について	到達目標:健康に関する様々な情報を見極め、個人にあった健康行動について理解する。 学習内容:健康管理全般について学習する。(和田)					
成績評価の方法・基準	授業全15回の評価配分(100%)を、1回から10回までがレポート(66%)、11回から15回までが期末試験(34%)で評価します。							
教科書								
参考図書	国民衛生の動向 (2018/2019)	厚生労働統計協会			厚生労働統計協会			
教員からのメッセージ	この授業では、授業で保健活動の科学的根拠を理解し、復習で他人にわかりやすく説明する能力を養います。授業は楽しく、恥ずかしがらず積極的に疑問を投げかけてください。専門科目の導入となるよう、できるだけ平易な言葉で解説します。レポートはコメントを付して返却します。							